

## アンケート結果に対する市の考え方について

【実施期間】 令和 5 年 12 月 14 日（木）～令和 6 年 1 月 22 日（火）

【意見数】 意見数44件（口頭18件、直接持参2件、郵送2件、電子申請22件）

番号	所属	内容	市の考え方
1	民生委員	・ライフステージ別のテーマに関連して、75歳からは一括りになっているが、80歳から、90歳から、とさらに気を付けることや体の変化について段階分けができないか。	平均寿命が延伸している中で、高齢化による健康への影響等について、引き続き、市としても正しい健康情報を得られるようにしていきたいと考えています。今後の参考とさせていただきます。
2	民生委員	・筋力維持としてこういうことが大事だよとピラを配布したりするが、実際に自分でこうすればよいとわかるような情報を提供してもらえないか。今の情報だけでは、具体的にイメージしにくく、今回の基本方針と一緒に配布してもらってもいいくらい。	現在、ホームページなどで筋力維持などに必要な体操を「元気アップ体操」として公表しています。また、日々の健康維持に必要な情報としてライフウェルネス教材を活用した情報提供を行っているところです。引き続き、具体的な情報などをお届けできるよう、周知の方法など検討していきたいと思います。
3	民生委員	・終活というのがよく言われてはいるところ、高齢支援課で安心サポートなどもやってもらっているが、自身が死んだらどうなるのか、何を考えて準備しておかないといけないのか、おひとり様や障がい者を抱えた家族（自身が先に逝く場合、残されてしまう）がいるような人へのサポートシステムや日常的な情報発信が増えてほしい。それがいつ最期を迎えるとしても安心感があり、幸せにつながると思う。 ・アンケートを紙配布にしてもらったほうが回収率が上がると思う。	地域で安心して暮らしていただけるよう、あんしんサポートや高齢者見守り相談窓口の設置など実施しています。ご意見について、今後の参考とさせていただきます。
4	健康づくり推進員	・第六次総合計画における「分野横断的に取り組むべき重点テーマ」の一つのことであったが、この基本方針のどこに部署横断的に全庁で取り組むというような姿勢が記載されているのか。 ・健幸まちづくり推進室の位置づけとしては、各部各課において健幸まちづくりに関する内容の課題があれば部署関係なく、一緒に取り組んでいるのか。	健幸まちづくり基本方針の改定案17ページにも記載のとおり、健幸まちづくりの取組は、全ての部署が担当部署となっており、引き続き、行政内部でも連携・協力して取り組んでいきます。また、令和6年4月には、健幸まちづくり推進室は企画政策部企画課へと統合され、さらに庁内横断的に取り組むことのできる体制となります。健幸まちづくりに関する課題について、関係部署とさらに連携を強化し、分野横断的に取組を推進していきます。

5	健康づくり推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年12月議会でも傍聴していたが、議員からも基本方針に関する質問が少なく、市民の関心もその程度なのではないかと感じてしまった。</li> <li>・ライフウェルネス検定については、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、一旦やめてしまっているが、今後どうしていくつもりか。活用すべきと思うが。</li> <li>・要望だが、多摩センター駅前の風除板のウォーキングマップのある掲示板についてあまり活用されていないように思う。健康づくり推進員の募集など、こちらで有効に活用させてもらえないか。</li> </ul>	<p>ライフウェルネス検定については、新型コロナウイルス感染症を機に現在は実施していないものの、ライフウェルネス教材を地域の集まりなどで利用いただいるほか、京王の移動販売車で同内容の動画を流すなど活用しています。令和5年12月議会でもライフウェルネス検定については、ICT活用して実施するなどのご提案があったところ、今後、どのように活用していくか検討していきたいと考えています。</p> <p>また、多摩センター駅周辺の掲示スペースについては、利用目的などにより適切な掲示場所をご案内しておりますので、市役所にご相談いただければと思います。</p>
6	健康づくり推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸まちづくり基本方針の行政における位置づけとは。</li> <li>→各部各課の各行政計画にも溶け込む内容と認識してよいか。</li> <li>・今回の改定にあたり、これまでの実績に係る評価についてどうか。</li> </ul>	<p>健幸まちづくり基本方針は行政の取組方針であり、これを基に各部において健幸まちづくりを踏まえた事業を実施することとしています。各行政計画においても、健幸まちづくり基本方針を踏まえた内容となるものと認識しています。</p> <p>また、今回の改定にあたり、健幸まちづくり推進本部において庁内の実績について総括し、各部各課において一定程度、健幸まちづくり事業が浸透し、今後はさらに分野横断的な推進を実施していく局面と認識しています。</p>
7	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸まちづくりに関する年間の予算はどのくらいか。</li> <li>・今回基本方針を改訂してどのくらい予算は変化するのか。</li> </ul>	<p>健幸まちづくり推進室が所管する健幸まちづくりに関する令和5年度の予算は約370万円ほどとなっています。課題の内容に応じて各部と連携・協力して取り組むため、改定によって、健幸まちづくり推進室独自の事業の予算が必ずしも増加するわけではありません。</p>
8	保育園長会	<p>今回子どもに関する記載が増えたとのことだが、その実効性を確保できるような者が基本方針の検討体制に入っているのか。評価指標の確認など、今後、教育関係者など現場に携わる者がいないと実施や評価が難しいと思う。</p>	<p>健幸まちづくりの取組について庁内で検討や評価等を行う場として健幸まちづくり推進本部がありますが、そこには教育部長や子ども青少年部長など子どもや教育に関する施策を担当する者も出席しております。</p>

9	民生委員	<p>多摩市(担当区域)は健康寿命が長く、介護を必要とする段階になっても地域と繋がりがりながら生活している世帯を多く見受ける。市内に様々な活動場所や参加場所が受け皿となり、またその場所で自身のライフステージを学べる機会が多いのでは。</p> <p>具体的には、病気や、介護が必要となった時に「自分はどうするか」を計画されている方を多く見受けます。最終的には自宅を離れ施設入所も数が増えています。が、当事者においては最善の選択である。</p> <p>もし怪我や認知症に自分や家族がなったら「その時に考える」ではなく、自分は何処に通うか、どう支援を受けるかを近隣や知人の体験談を元に具体的に選択肢を準備されている方を拝見することが多いため、非常に強みを感じ、社会資源の恩恵を実感する。</p> <p>40～50代の未婚で親世帯と同居も多く見受けられているが、子世帯が独居になった場合の孤立化は必須である。見えにくい支援の必要性や複雑化を危惧する。早い段階での支援や居場所づくり、学びの場の拡充を希望する。精神保健福祉士の配置拡充の必要性を強く希望します。</p>	<p>地域の現状を改めてお伝えいただき、ありがとうございます。また、ご指摘のとおり、近年、生きづらさを抱える方の課題が複雑化・複合化している例が見られます。こうした問題に対応していくために、令和2年に社会福祉法が改正され、これを踏まえ、多摩市においても令和6年度より重層的支援体制整備事業を実施することとしております。</p>
10	民生委員	<p>短い時間の中で説明されてもなかなか理解できませんでした。皆が元気で自分らしく最後まで暮らすことができるのは良いことだと思います</p>	<p>ご意見踏まえ、引き続き、健幸まちづくりの考え方や取組について市民の方々にさらにご理解いただけるよう、わかりやすい説明を心掛けていきたいと思ひます。</p>
11	民生委員	<p>この立派な基本方針が多摩市のまちづくりに具体的に実行されてこそ有効な方針となる。</p> <p>十把一絡げではなく市民の人数分に相当する多種多様な暮らし方がある事を踏まえて、あらゆる状況の市民に行政のパワーが行き届くという当たり前のまちづくりが更に推進される事を期待する。</p>	<p>ご指摘の通り、この健幸まちづくり基本方針を基に様々な取組を通して、市民の健幸を実現していくことが目的です。ご期待に添えるよう、取り組んでまいりたいと思ひます。</p>
12	多摩市国際交流センター	<p>今回の改定において一番力を入れた箇所はどこか。</p>	<p>平成29年3月に策定した当時の健幸まちづくり基本方針は、必然的に高齢者の健康を対象とした記述が多く、これは現在も高齢化が進行する状況にあつては、今も変わらず重要な課題であると認識しています。他方、多様な世代において健幸であるよう、今回、新たに心の健康や女性の健康、働く方の健康（健幸！ワーク宣言）など、近年の社会情勢を踏まえ、多様な世代・性別を対象とした健康への記載を充実することとしました。また、これを基に各部の取組がより広がりを持てるような記載を充実させたところです。</p>

13	多摩市国際交流センター	<p>健幸まちづくりといっても具体的に何をするとよいかというわかりやすい具体策を提示して、広報なども使いながら情報伝達されるとよい。特に困ったときにどこにいくといいのか、身体を動かしたくなかったときにどこにいくといいのかなど情報を周知してほしい。</p>	<p>具体的な情報について、より必要な人に必要な情報を届けられるよう、広報だけでなくICTの活用なども行いながら、効果的な周知方法を引き続き検討してまいります。</p>
14	多摩市国際交流センター	<p>今回、世代の多様性については記載が増えているように思うが、さらにジェンダーや外国人などの多様性に関することも少ないように思う。実際にいろいろな施策を実施するにはそういった点を考慮して実施してほしい。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、各施策を検討・実施する際には、必要に応じて、世代だけでなく、障がい者やジェンダー、外国人など多様な方々が住みやすいまちであるよう、考えていきたいと思いをします。</p>
15	多摩市国際交流センター	<p>自身の子どももちょうど40代だが、今の40代は仕事も育児も家事も忙しく、本当に自身のケアをする余裕がなく、本当にかわいそうだと思う。国レベルでも働き盛りの者の健康に関する施策を本腰をいれてやってもいいくらいではないか。引き続き、そういった世代の健康についても何か取り組んであげてほしい。</p>	<p>多摩市では、その年度に40歳を迎える方々を対象に、健幸啓発情報誌「for40」を送付しています。近年、40代くらいから健康維持を心がけるとその後、老後にかけても健康状態が良いと感じる人の割合が多いことがわかってきており、今後の市内の高齢化人口の増加も見据えながら、仕事や育児等で忙しい世代の健幸についても取り組んでいきたいと思いをします。</p>
16	多摩市国際交流センター	<p>「健幸」半ばコトバ遊びのような感覚でみていましたが、今回の「基本方針」のように、コトバによる文章でしっかりと考え方が示されたことは、「覚悟」を表明したものと思ひ、歓迎します。これを出来るだけ具体的な「施策」として市民と共有しながら実行していくことが急がれます。</p> <p>私が興味を持った「ライフステージ別のテーマ」、まさに後期高齢者に入った身としてこの図を見ると、75以上には、現況受け入れ的な表現が多いのは止むを得ないでしょうが、あえて能動的な表現・意識付けがあっても良いと思ひます。社会参加というよりも「存在価値の再確認？」などはどうでしょうか。</p> <p>例えば、Ⅲ.世代の多様性の確保 (3)ESDの充実 (4)多世代の参画、他分野の・・・に関して、高齢世代から若年世代への、成功や失敗の経験や勉強法、知恵などの伝達、逆に若年世代から高齢世代には、ITなどの現代不可欠な知識やノウハウを教授することなど極めて有意義なことと思ひます。マイナンバー制度やキャッシュレス制度等が立ち遅れていることも、高齢者保護に過度に偏った施策が、高齢者のみならず若年世代の活躍の機会まで制限してしまっていると思ひます。</p> <p>意見を述べる機会を頂き有難うございます。</p>	<p>今回、平成29年3月に策定した当時から5年以上経過し、変化する社会情勢などを踏まえ、改めて健幸まちづくり基本方針を改定することにより、さらに健幸まちづくりの取組を推進していくこととしました。</p> <p>また、高齢者に関する記載も含め、世代の多様性なども踏まえながら、全体を前進させていけるような表現ぶりについては、引き続き検討してまいります。</p>

17	保育園長会	<p>多摩市健幸まちづくり基本方針、すばらしい提言だと思います。まさに多摩市のみならず、日本の未来社会が目指すあるべき姿なのではと賛同いたします。しかし、、、残念ながら私達はこの方針を初めて認知しました。さて、この方針をいかに具現化するのか問題が多岐にわたり非常に難題です。市民、市民団体、行政、企業、議会等の認知、意識改善を変革する必要があり革命的な実践行動が重要であると考察します。故に多摩市の緑豊かな自然と既存施設およびSNSと融合した新スポーツゲームイベントを開催し全世代の市民全員が一体感を持つことがスタートであると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月一回（健幸）の日として開催する</li> <li>・各ポイントにクイズ、ゲーム、謎解きを設定（健幸）をテーマとする</li> <li>・参加者は現地およびSNSでも参加できる</li> <li>・コースはエリア別に複数設置する</li> <li>・知力、体力、気力をともに助け合い育み達成感を共有するイベントが理想です</li> <li>・出来るだけ人、物、金を使用せず（既存施設、アイデア、情報、SE）で実施可能と考えます。</li> </ul>	<p>ご指摘の通り、この健幸まちづくり基本方針を基に様々な取組を通して、市民の健幸を実現していくことが目的です。ご期待に添えるよう、取り組んでまいります。</p> <p>また、イベントのご提案については今後の参考とさせていただきます。</p>
----	-------	---	---

18	多摩市国際交流センター	<p>・多摩市は人口約15万人、都心（新宿）へのアクセスも約30分と便利で緑も多く、遊歩道なども充実しており、住むには最適な場所だと確信しています。</p> <p>・「健幸まちづくり基本方針改定（案）」については、最近の動向を反映し、しっかり書かれていると思います。しかし、抱える問題点等沢山あり、市民自身はもとより、自治会や行政が重層的に取り組んでいかなければならないと思います。主には次の通りです。</p> <p>（１）高齢化に伴い、独居老人宅が増えて来ており、死亡時の確認が遅れることが散見されます（自治会では、この問題に対応する為「近隣連絡網」を作り活用しています）。</p> <p>（２）他方、共働きや1人親家庭も結構多く、子供達への食事提供がスムーズに行っていない例も多くみられます（ボランティアさん5～6名を募り、「こども食堂」を月2回開催し「宅食」も実施しています。東京都と多摩市やボランティアセンターからの資金援助約70万円強で運営しています。）。お母さん方からも感謝の声も頂いています。</p> <p>（３）市在住の外国人も3,300人強となり、交流の場としてTIC（国際交流センター）の存在も貴重となって来ています。</p> <p>その他「方針案」に書かれている内容、いづれも大切なことばかりです。前進・実現につき、お互い、努力していきたいものです。</p>	<p>ご指摘の課題についてはいずれも重要な課題と認識しており、仰るように行政だけでなく、様々な主体が連携・協力し対応していく必要があると考えております。この健幸まちづくり基本方針を基に様々な取組を通して、市民の健幸が実現していくことができるよう、引き続き、取り組んでまいります。</p>
19	民生委員	<p>多摩市が考える「健幸まちづくり」と、個人の生き方(選択)との兼ね合いが重要になると思います。</p>	<p>いただきましたご意見について、今後の参考とさせていただきます。</p>
20	多摩市文化振興財団	<p>博物館においてもwell-beingという視点が上がっており、大切な考え方と感じる。</p> <p>現在の基本方針は世代ごとについて考えられているが、多世代交流も重要ではないか。</p> <p>文化など、触れたその時には特に思い出などなかったとしても、人生のふとした瞬間に思い出されたり、趣味としてつながっていくことがある。多摩市における文化活動や式典でバルテノン多摩を訪れる人たちにとって、心の糧となっていくよう、体験をぜひしていただきたい。広報など横断的に協力していければと思う。</p>	<p>多摩市に限らず、各方面でwell-beingという視点が注目されています。多世代交流や、文化とのふれあいは特に個々人の幸せの部分に大きく寄与するものと考えられます。健幸まちづくり基本方針の改定を踏まえ、引き続き、関係者と様々な連携・協力をしながら取り組んでまいります。</p>

21	スポーツ推進委員	<p>改正までにいたった経緯がよくわからないので、なんとも言えませんが、スポーツ推進委員の活動としては、スポーツを通じた多世代交流、誰でも楽しめるスポーツの環境作りのして、市民の皆様が健幸でいられる手助けをしていると思う。そして、私自身も身体を動かし、人と人のつながりをいただいて活動し、健幸でいます。</p>	<p>平成29年3月に策定した健幸まちづくり基本方針は、策定から5年以上が経過したことから、社会情勢の変化等を踏まえ、また、令和5年11月に策定した第六次多摩市総合計画で、基本構想における分野横断的に取り組むべき重点テーマの一つに「健幸まちづくりの推進」が位置付けられたことから、内容の一部を改訂することとしました。</p> <p>健幸まちづくりの推進にあたっては、行政に限らず、スポーツ推進委員の皆様も含めた様々な主体による取組や、連携・協力が重要です。引き続き、取組へのご協力をお願いいたします。</p>
22	スポーツ推進委員	<p>改定にいたったきっかけを知りたい。他にどのような団体に説明に回っているのか。また、市役所内ではどのような場で関係部署間の話し合いをしているのか。現在の基本方針は健康・福祉の記載がメインでスポーツの視点が欠落しているのではないかと感じる。記載としてバランスが悪いように思う。また、スポーツ推進計画と健幸まちづくりの関係性も密にしてほしい。</p>	<p>平成29年3月に策定した健幸まちづくり基本方針は、策定から5年以上が経過したことから、社会情勢の変化等を踏まえ、また、令和5年11月に策定した第六次多摩市総合計画で、基本構想における分野横断的に取り組むべき重点テーマの一つに「健幸まちづくりの推進」が位置付けられたことから、内容の一部を改訂することとしました。</p> <p>また、市役所では健幸まちづくり推進本部を設置し、関係部署間での話し合い等を実施しています。</p> <p>記載のご指摘について、健幸まちづくり基本方針を踏まえ、各部署の各施策の基本計画に落とし込んでいくこととしています。引き続き、庁内においても関係部署間と連携・協力を図ってまいります。</p>
23	学びあい・育ちあい推進審議会	<p>19ページに関連指標の記載があるが、今後は目標値の設定も考えていくべきではないか。ただし、内容的に数値化できるものばかりでもないように思うので、数値的なものに限られない方がよいと思う。</p> <p>また、各部の事業がどの健幸まちづくり事業と関連しているか、わかるものがあるとわかりやすいと思う。</p>	<p>これまで関連指標の推移や取組の成果を確認していく手法の一つとしてきたところです。目標値については、ご指摘の通り内容的に数値化が必ずしも適するものと限らないところ、慎重に検討していきたいと思います。</p> <p>各部の事業と健幸まちづくり事業の関連性についてわかりやすく伝えていけるようなことも今後検討していきたいと思います。</p>
24	学びあい・育ちあい推進審議会	<p>文部科学省の教育推進計画においてもwell-beingが掲げられ、個人だけでなく社会への広がりという部分での幸せが必要となってきている。今後の目指すビジョンをさらに描けるとよいと思う。また、どうしても総花的になってしまうので、計画とまではいかなくても年度によって重点的に取り組んでいく項目を設定していくとわかりやすいと思う。推進体制についても疎かにしないでほしい。</p>	<p>今回の健幸まちづくり基本方針の改定を踏まえ、健幸まちづくりの取組をさらに推進していくにあたり、年度ごとによる重点項目の設置などについては前向きに検討してまいります。</p>

25	スポーツ推進委員	<p>「健幸的な生活」を実践しやすい環境づくり。これが一番必要だと思います。沢山の人が多摩市で生活しています。生活環境、個々の性格、みんな違います。その中で自然と多摩市に馴染んで心から楽しいと思える生活環境を作っていけたらと思います。</p> <p>自分も多摩市に生まれ50年自然があり昔ながらの地元愛もあり色々な施設も充実し誇れる町です。これからも、自分達の様なボランティアが色々な人に「健幸」の意味を伝えながら多摩市民が楽しめる街づくりが出来たらと思います。</p> <p>大変な事だとは思いますが多摩市には色々なボランティア団体があります。行政と力を合わせて「健幸まちづくり」ができればと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、健幸的な生活を実践しやすい環境づくりは重要なことと認識しております。ぜひ、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思います。</p>
----	----------	--	---



26	スポーツ推進委員協議会	<p>「世界に誇れる健幸都市」を目指し、「定義」の実現に向け、一歩でも二歩でも近づけるよう願っています。</p> <p>理想的なイメージを描き、優先すべき施策からステップアップさせていく構想を練って、理想的な社会(環境)像を描くまでは比較的スムーズに進みますが、掲げた構想を一つ一つ具現化し、現実のものとしていく過程は、困難の連続であると思います。</p> <p>行政を中心として、如何に関連する組織や人材を動かす横断的な連携(意志)をつくり、そこに関わる組織や人が動きやすい仕組みを整備できるか、幾つもの難しい課題が山積です。</p> <p>これを突破するパワーを、行政が一丸となって取り組む決意が求められます。</p> <p>これまでも、いろいろな角度から様々な取り組みをしてきたと思います。基本方針「意識醸成」の項に記述されているように、「無関心層」や「関心があっても実際に行動に踏み出せない層」の方々が、玄関の扉を開いて一歩踏み出すきっかけづくりが、難題中の難題です。</p> <p>イベント等に初めて参加される方の殆どは、知人・友人等の身近な人からの誘い、声かけですから、自治会を含めた地域のつながり強化等、地道な草の根活動の積み重ねも、時間が掛かりますが必要な方法だと思います。</p> <p>また、「世界に誇れる健幸都市」とは、災害時にも強い都市です。</p> <p>災害等の緊急時、被災された市民の皆さんが安心できる拠り所があること、自分達の「支えになる」、「頼りにできる」仕組みが、体制があると感じられるか、感じられないかでは、その後の精神的負担は大きく異なってきます。</p> <p>壮大な計画への挑戦ですが、一歩でも、二歩でも、前に進むことを期待しています。</p>	<p>ご指摘の通り、必要な人に必要な情報を届けることは難しい課題として認識しており、行政としても広報等の活用に加え、ICTの活用なども行いながら取り組んでいきたいと考えています。今回の健幸まちづくり基本方針の改定を踏まえ、改めて行政内での連携・協力のほか、関係者など様々な主体における取組と連携・協力を行いながら、健幸まちづくりの取組を推進していきたいと思っています。</p>
----	-------------	--	--

27	多摩市文化 振興財団	<p>「健幸まちづくり」からは高齢者をターゲットにしているイメージが強い。これを子どもでも健康な若者でも、だれもが当事者であると意識される事が大事 「こうあるべき」というひな形的な枠にははめづらい（それぞれのやり方が必要）と思う 何をしてほしいか、何ができるかはそれぞれ →たくさんの方が少しずつでも関係することが大切 それらにより個人の幸福度がアップ、周りの人の幸福度がアップ、まちの幸福度がアップされることを願っています</p>	<p>平成29年3月に策定した健幸まちづくり基本方針は、高齢化が進行している多摩市においては高齢者の健康を対象とした記述が多く、これは現在も高齢化が進行する状況にあっては、今も変わらず重要な課題であると認識しています。他方、多様な世代において健幸であるよう、今回、新たに心の健康や女性の健康、働く方の健康（健幸！ワーク宣言）など、近年の社会情勢を踏まえ、多様な世代・性別を対象とした健康への記載を充実することとしました。 特に、幸せの部分は個人の主観に関わるようになりますが、ご指摘のように多くの様々な立場の方々に関わっていただき、個々の幸せを少しでも実現していくことができる環境づくりをしていけるよう引き続き考えていきたいと思っています。</p>
28	スポーツ推 進委員	<p>基本方針の改定案の内容としては、時代や環境の変化に対応してよく整っているものと思います。これまでも関連する部署がそれぞれ弛まなく努力されていると思いますが、それらを横断的が融合させることで、より一層実効があがると思われます。則ち点と点を結んで線となし、線と線を結んで面となしていく仕組みを構築する必要が大ではないでしょうか。</p> <p>限られた人だけが動き回るのでなく、各々が各々の立場で自助・互助・共助・公助の流れに沿って、それらを効果的に結び付けてできることをやっていくという思いが初めの第一歩ではないでしょうか。</p> <p>ところで、「健幸まちづくり」の精神を市民に浸透させ判ってもらうための周知、啓蒙活動は十分に行われているのでしょうか。老若男女だれにでも判りやすい言葉で呼びかけ、市民がこぞって「バイスタンダー」から「プレイヤー」になるよう働きかけていくことが必要でしょう。</p> <p>コミュニティ形成の重要性はますます高まっています。わが地域では高齢化率が50%超え、一人暮らしの世帯も少なくないと聞いています。これらの人を孤立させないためにも「健幸まちづくり」の推進は欠かせません。</p> <p>絵に描いた餅にならないよう、縦割り組織の弊害を取り除き、正に横断的に統合していくことが最大限の効果を生み出していくことと思います。</p> <p>勿論、行政だけの問題ではありませんが、リーダーシップを発揮されしっかりと舵取りされにことを期待しています。</p>	<p>ご意見踏まえ、引き続き、健幸まちづくりの考え方や取組についてご理解いただけるよう、わかりやすい説明を心掛けていきたいと思っています。また、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していきたいと思っています。</p>

29	多摩市民生 委員協議会	赤の修正箇所を確認致しました。これで宜しいかと思ます。	ご意見ありがとうございます。今後ともご協力よろしくお願いたします。
30	和田・東寺 方コミュニ ティセン ター運営協 議会	<p>今回の主な改定が</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健幸まちづくりの推進」が分野横断的に取り組むこと</li> <li>・社会情勢の変化に合わせたテーマを追加したこと</li> </ul> <p>ですが、この点については異論はありません。</p> <p>しかし、実施について横断的に取り組む事で事業の遂行状況あるいは、評価が不明確になる可能性もあります。そこで、ある程度ここで示された「12事業分野」についての推進母体（主管部署）を明示した方が良いと感じました。</p> <p>問題はいかに参画してもらえるかだと思います。若者（60代以下）は仕事が一番であり、自治活動への参加は出来ないのが現状であり、リーダー的人材はおのずと高齢者となります。参画への継続的な努力が必要です。</p>	<p>各部の事業と健幸まちづくり事業の関連性についてわかりやすく伝えていけるように、今後検討していきたいと思ます。</p> <p>また、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思ます。</p>

31	多摩市社会福祉協議会	<p>3つの柱と12の事業分類、ライフステージ別のテーマなどについては、わかりやすいと思います。また、基本方針や概念、方向性についてもわかりやすかったです。ただ、平成29年から進めてきた健幸まちづくりですが、これまでの効果や成果はどうだったのでしょうか。それを踏まえての改訂なのかと思います。・市民へ浸透はしているのか。・市内の横串、横断的な体制はできたのか。それらを踏まえて、健幸都市にどれくらい近づいているのか。など市民や行政、NPOや大学など、皆で進めることは大事ですが、反面、既存の事業や取り組みとの境目（違い・意識が持ちにくい）がわかりにくくなるのではと思います。また、担い手も同様で、すでに取り組んでいる市民も多くいる中で、無関心層や転入してきた市民、若者などを積極的に取り入れていく取り組みに力を入れていく必要があると感じます。健幸まちづくりとして、実際に何を進めていくのか、何をやるのか、その具体的なプロセスや短期、中長期ビジョンが可視化できると良いと思いました。その上で、取り組みの目玉みたいなものを掲げた方が、健幸まちづくりが際立つのでは感じます。また、人の幸せは測ることが難しいと思いますので、取り組みの基準を設けてはと感じた次第です。高齢化が顕著な多摩市ですが、若い世代にも多く住んでいただき、それぞれの世代で生きがいを持ち、多世代が生き生きと活躍できるコミュニティづくりをしていけたらと思います。現代なりのつながりや支え合い、方法で、活気のあるコミュニティそのものが健幸まちづくりであると思います。社協としては、地域に入っていき、市民一人ひとりと向き合い、対話を大事に、高齢、障がい、災害時要配慮者などの立場から福祉コミュニティづくりを進め、健幸まちづくりに取り組めればと思います。また、地域のプラットフォーム（地域福祉推進委員会）、企業大学等のネットワーク（ゆるたまネット）、社会福祉法人のネットワークなど、持っているネットワークを活かし、多機関協働で進めていけたらと考えています。</p>	<p>これまでの健幸まちづくりの推進により、例えば、健康都市に関する市民の意識は「健康都市・多摩市」の認知度が平成29年度に21.5%であったものが令和3年度には49.6%、「健幸都市・多摩」を知っている人からの取組への評価の割合も平成29年度には18.7%であったものが令和3年度には42.7%と上昇しております。また、健幸まちづくりの取組について市内で検討や評価等を行う場である健幸まちづくり推進本部においても、各部の健幸まちづくり事業に関する取組の進捗を確認し、健幸まちづくりが市内に一定程度、浸透したものと認識しております。今回の健幸まちづくり基本方針の改定を踏まえ、健幸まちづくりの取組をさらに推進していくにあたり、例えば、年度ごとによる重点項目の設置などについて前向きに検討してまいりたいと思います。引き続き、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思います。</p>
----	------------	---	--

32	唐木田コミュニティセンター運営協議会 福祉部	<p>以下40年 多摩市で生活してきた者として提案お願い等</p> <p>①多摩センター駅前広場空間はとても良いと思ったがイザ生活してみると、冬は吹きさらし、夏は炎天下、郵便局や買い物に行こうと思いませんでした。…何か工夫を。</p> <p>②若い頃マンションを買って、緑があり、広々として、きれいな街作りで満足して生活してきました。しかし、年を増してくると階段の登り降りが不可能になってきて、初めてこれでは生活出来ないと気付く事になりました。公団も50年後の事は想像できなかった事と思います。多摩市として高齢者の多くなった現在の生活を守る工夫をして頂ける事は出来ないか。④…一緒に移りたい希望者に空部屋情報とか引越お金の問題まで寄り添う事が出来ないか?。等</p> <p>③多摩市に高い建物が建つようになってきました。突然立て看板が立って業者は「法律にのっとって設計しています」の名の元に、日の光を遮る建物を建てしまっています。</p> <p>(経験者) …近隣住民はあわてて市役所に相談に行きました。市役所は相談を受け付けて下さったし対処も教えて頂きました。それは(近隣住民と業者が話し合って解決して下さい。対する場もあります。)(どちらの味方にもなれません)でした。でも住民は高齢者、うとい人、介護中で大変な人達でした。専門の業者には負けるばかり結局お金で解決となりました。その時、特に思った事は、もう少し住民の側によりそい、「こう言う事だよ、こうしてみたら」等の提案があったらどれだけ心強かったかと思いました。</p> <p>多摩市に法律の特例を作る事は住民の流入を防ぐ事にもなると思うが出来る範囲まででも日障を受ける弱い立場の人の不安を解消する為の行動を起こして頂けるだけでもありがたいと思います。</p>	地域におけるご意見につきまして、ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。
33	からきだ菖蒲館「健・スポ会」	<p>八王子の「てくぽ」を導入してほしいです。</p> <p>年齢制限なし</p> <p>スマホ限定でなくガラケーも使える仕組</p> <p>各市役所の出張所やコミュニティセンターでも引き換えられる仕組</p> <p>ポイントに応じて紙ベースで商品券が頂ける仕組</p> <p>皆がスマホを使えたりPayPayを利用している訳ではありません。</p> <p>参加したい人がすぐに始められる仕組でお願いします。</p>	八王子市のてくぽの取組については承知しております。ご意見につきまして、今後の参考とさせていただきます。

34	多摩市スポーツウエルネス吹矢協会	<p>以前より具体的な内容になっており、何をしたいこうとしているかわかりやすくなっています。</p> <p>私どもの吹矢活動は、フレイルにならないように腹式呼吸に胸式呼吸を併用した呼吸を利用したスポーツとして普及拡大を図っておりますが、名称を2019年からスポーツ吹矢からスポーツウエルネス吹矢と名称を変更し、健康を重視した名称にしています。多摩市では「健幸都市」と謳われていて、目指すところが同じではと活動にも力が入っております。改定案に関し具体的にぜひ実施されることを期待します。</p>	<p>ぜひ、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思います。引き続き、ご協力お願いいたします。</p>
35	民生委員	<p>地域が、それぞれ高齢化が進み自治会も衰退している中、コロナ禍になり増々動きが鈍くなっていました。</p> <p>最近やっと色々な、活動が出来るようになりましたが、古い考えの方とこれからの若い方の交わりが特に必要になると思います。</p> <p>それぞれの地域で楽しい企画ができたらと思います。</p>	<p>ぜひ、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思います。引き続き、ご協力お願いいたします。</p>
36	多摩市ターゲット・バードゴルフ協会	<p>基本方針の改定案については問題ありませんが、健康並びに幸せを支える活動場所、料金等の問題の更なる検討が必要と考えます。</p> <p>又本アンケートの回答時間があまりにも少なく、他の人の意見を聞く時間がありません。立派な内容なのに、もったいないと思いました。</p>	<p>ご指摘の点について、今後も健幸まちづくりの取組を推進するにあたり、その活動場所や料金など、施設の維持や活動内容等に応じて適切な内容となるよう担当者ととも考えていきたいと思えます。</p> <p>アンケートについてご協力ありがとうございました。今後、多くの方にわかりやすいような周知方法について引き続き検討してまいりたいと思います。</p>
37	体育協会 居合道連盟	<p>賛成致します。</p> <p>ですが、下記の点をご検討頂きたいです。</p> <p>健康に過ごすためには適度な運動が必要と思いますが、その施設利用に金銭的負担が大きくなってきています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の駐車場が有料化された</li> <li>・学校開放の利用に使用券の料金が必要になっている</li> </ul> <p>以上です。</p>	<p>いただきましたご意見について、今後の参考とさせていただきます。</p>

38	多摩市私立 幼稚園園長 会	<p>コロナ禍を経て、私たちの健康の大切さをあらためて感じます。健幸は当たり前ではないことを目の当たりにしました。毎日のように検温をする、外出の際にはマスク、手指消毒、これまでに経験をしたことがない日々でした。</p> <p>そのような中に出産、子育てをした保護者は大きな不安を抱えていたと思います。また、高齢者は家から出る機会を失い、フレイルの状況があります。今回の見直しで、心の健幸に目を向けたことは評価すべきことです。</p> <p>ニュータウン再生の中で新たなものに目を向けがちですが、エレベーターのない5階建にお住まいの高齢者は毎日階段を上り下りして家から出かけて帰ってきます。当たり前ですが、視点を変えればフレイル予防、健幸都市です。エレベーターがないことをプラスに捉えて発信することも大事ではないでしょうか？</p> <p>必要な人に必要な情報が届くことは必須です。身近な情報を地域の人たちから教えてもらうこと。知ること。つながっていくこと。をぜひ目指して、健幸都市目指していきましょう！</p>	<p>ご指摘のように新型コロナウイルス感染症の影響は私たちの生活に大きな影響を与え、社会に大きな変容を起こしました。また、発想の転換に関するご指摘ありがとうございます。</p> <p>ぜひ、行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思います。引き続き、ご協力お願いいたします。</p>
39	多摩市私立 幼稚園園長 会	<p>健幸に関して具体的に3つの柱を設け、出生からの長い人生を健康で幸せな人生を切れ目なく支援するとても良い政策と考えます。健幸の基礎は乳幼児期からと考えれば、一人ひとりの子ども達がまわりから愛され、自己肯定感を持ち、人生を充実して生きられるよう、子育て支援の一層の充実を希望いたします。</p>	<p>健幸まちづくりでは、世代の多様性の確保も重要な課題の一つととらえ、子どもたちの健幸まちづくりの推進にも取り組んでいきます。行政のみならず、関係者の皆様と連携・協力しながら健幸まちづくりの取組を推進していければと思います。</p>
40	民生・児童 委員協力員	<p>社会生活の変化で、地域住民の連携に係る機会や時間が減少して、市内の地域活動の担い手も減少している。この状況をカバーするためには、行政の職員が担当業務以外でも積極的に地域活動等に関わっていく必要があると思う。地域活動の活性化、行政との効率的な関わり方、職員が地域の状況等を深く把握することで、今後必要な施策等について多くの職員が意識することができると思う。</p>	<p>ご指摘については、現在、地域協創という枠組みが検討されております。また、事業の実施等の際には、市役所内でも引き続き、浸透を図ってまいりたいと思います。</p>

41	<p>多摩市体育協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的に決定し、公表する際は前回のものどどこが変わったのか見やすい資料が必要だと思う。</li> <li>・健幸まちづくり基本方針改定案の8ページにある「健幸まちづくり ライフステージ別のテーマ」の図は年代で区切ってしまっているが、かえってわかりにくいし、自分事ととらえづらいのではないかと感じる。趣旨は理解するが、今後の改定などの際にスクロール状にするなど、さらに工夫してほしい。</li> <li>・新型コロナの影響によるフレイルについては、すでに5類移行している中、自粛期間中と同じようにひきこもってばかりの人はいないわけだから、このような注意喚起があえて必要になるのか。</li> <li>・体を動かしてもらおうきっかけの一つとしてイベント開催は重要だと思う。最近では以前に比べ開催回数も規模も縮小しているように感じるし、開催するまでに行政をはじめ、主体は一生懸命頑張っているのだと思うが開催したらそこでおしまい、となっているように感じている。開催のその先に、改めて多摩市の良さを感じりリピートしてきてもらったり移り住んでもらったり、イベントをきっかけに地域活動に参加したりなど、先につながる動きがなく、大変残念に感じる。当団体が実施している快汗スポーツイベントなどで自治会などと協力してイベントを大きくできないか。その際、地域の特色が出るよう地域でイベント内容を考えてもらうのもいいのではないかと感じる。</li> <li>・また、デジタル活用という点では、多摩市内には史跡名勝が多々あるのに、その場所にいてもどのような背景のある史跡名勝なのか、説明がないことが多い。これこそ、二次元コードなどを置いて読み込めばそこに関する説明がでてくるようにするなど、立ち止まって関心を持ってもらうようにできないか。せっかくウォーキングする人が多いのに勿体ないと感じている。</li> <li>・当団体は健幸まちづくりに貢献できる要素を多々持っていると思う。これからも連携できる点は連携していきたい。</li> </ul>	<p>「健幸まちづくり ライフステージ別のテーマ」の図については、年代を区切っている線を直線ではなく、まずは点線とすることとしました。また、各種イベントについて様々なご意見をありがとうございます。</p>
----	--	--



42	<p>多摩市失語症友の会「こだま」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を聴いてほしいという方多いと思う。</li> <li>・高齢、子育て、多世代が多く、障害に関する記載が少ないのではと思ったので、何らかの形で盛り込んでもらえたらいいなと思っている</li> <li>・概要説明資料（資料1）の「維持しうる心身機能を、必要に応じて適切な支援を受けながら、維持・向上させている」の表現はいいと思う。</li> <li>・失語、意思疎通が難しいため、外国の方も含まれると思うので、そういった表現があってもいいのかと思った。</li> <li>・説明を聞き、世代の多様性の記載はあるが、全般的な多様性があるということだと感じた。</li> <li>・抽象的だと具体的に分かりにくいと思うが、大義名分があればいいと思う。</li> <li>・健幸まちづくり基本方針改定案（資料2）19ページに障害に関する指標の文言が入っていると、気にしてもらっていると感じられるのではないか。</li> <li>・障害者も含めた市民に市がやっていることをどうやって伝えるのか、デジタル技術の活用もありだと思うが、概要版など伝わりやすい手法があるとよいのでは。</li> <li>・失語症の方たち、広報などが読めないこともある。どう伝えたらいいのかは課題である。</li> <li>・市で色々アンケートやっているが、届いた方は内容がよくわからないから回答してくれないのではないか。郵送した状況を、各支援団体に伝えてくれたら、定例会でお伝えする、とかもできるのでそういった連携ができれば。</li> </ul>	<p>様々なご指摘ありがとうございます。今後、施策の実施に際の参考とさせていただきます。</p>
----	---	--

43	多摩市失語症友の会「こだま」	<p>2月3日に「こだま」の例会がありました。失語症当事者の方々、また、先日直接お話を聞けなかった支援者（会話パートナー）には、「健幸」「健幸まちづくり」などについて、いただいた資料をもとに説明し、皆さん、「市民誰もが健康で幸せなまちづくり」に納得していました。</p> <p>基本方針については、「誰も」の中には、障がいを持つ人たちもいることがしっかり伝わるようにしてほしい。</p> <p>「障がい者」に関わる取組についてもっと書いてくれるようお願いしたい。という意見があり、皆が賛同しました。</p> <p>また、失語症という障害（困難）があっても、自立して生活を楽しむことができます。介護やケアの対象としてだけでなく、社会参加の主体としての障がい者、という視点でのまちづくりもお願いできたらと思います。</p> <p>どのような形、文言なら可能なのかわかりませんが、ぜひご検討いただければと思います。</p>	<p>仰るように、健幸まちづくりは、市民の誰もが健康で幸せに過ごせるまちを目指して、健康と幸せを獲得しやすい環境を整えていく取組です。この「誰も」にはもちろん障がいをもつ人たちも含まれており、健幸まちづくり基本方針改定案5ページにあるように「健康」とは、「加齢、障害、疾病により、心身機能に制限・困難がある場合においても、その状況下における健康があると捉えます」としています。ご指摘の記載ぶりについては、直ちにすぐ良い案がこちらも思い浮かばないのですが、引き続き検討していきたいと思います。</p>
44	多摩市失語症友の会「こだま」	<p>頂きました健幸まちづくり基本方針改定案（資料2）につきまして私見です。</p> <p>8ページ 1.健幸的な生活の獲得支援の2行目「…年齢ごとの世代の特徴や、障害の特性を捉え…」と障害以下の文言を加えて欲しい。</p> <p>14ページ 2.市民の潜在力の発揮 下から5行目「より多くの多様な世代の市民が」世代の文言を削除「…より多くの多様な市民が…」としてはどうでしょう？</p> <p>17ページ ①担当部署-すべての部署が担当 の中で「特に事業分類①、③、⑤から⑧までに示された…」の記載があります。新たに加えた⑨は？</p> <p>細かい事ですみませんが、見出しは別にして文中の取組について「取組」と「取り組み」が混在しています。統一した方がいいと思います。</p> <p>上記頂いた資料を拝読して特に気になった部分を書きました。</p> <p>これからのお仕事に期待しております。</p>	<p>健幸まちづくり基本方針改定案8ページについては、「…年齢ごとの世代の特徴等を捉え」と修正、</p> <p>14ページはご指摘の通り修正します。</p> <p>また、17ページにつきまして、「⑤から⑨まで」と修正いたします。</p> <p>なお、取組の標記については名詞について「取組」、動詞について「取り組み」とかき分けを行っておりますので、このままとさせていただきます。</p>